２０２５年度　数学科シラバス（Ｎｏ．１）

教科	数学科	科目	数学Ⅰ	単位数	3	学年	1
学科・コース	普通科　特進コース、看護医療進学コース						
教科書	新編　数学Ⅰ（数研出版）	副教材	チャート式解法と演習　数学Ⅰ+A（数研出版） 4STEP　数学Ⅰ+A（数研出版） 3TRIAL　数学Ⅰ+A（数研出版）				

科目の概要	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分 析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり、図形の性質を論理的に考察する力、グラフを相互に関連付け分析する力を養う。 また、問題解決の過程を振り返って自らを評価・改善できる力を身に付ける。 数学Ⅰ終了次第、数学Ⅱの分野も扱う。 大学入試に対応できる基礎力を身に付ける。	評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。（知識・技能） 数や式を目的に応じて変形し、関数の関係に着目し特徴を式や表・グラフ等に関連付けて考察する力、図形の性質について論理的に表現する力、データを適切な手法で解決・考察する力を身に付けているか。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。（主体的な態度）
授業内容	１学期 ・数と式 式の計算、因数分解、実数、１次不等式 ・集合と命題 ２学期 ・２次関数 ２次関数とグラフ、 ２次方程式と２次不等式 ３学期 ・図形と計量 三角比、三角形への応用 ・データの分析	評価方法	定期考査や小テストなどから知識、技能を課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。
		学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。 授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を、問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。
		備考	なし

２０２５年度　数学科シラバス（Ｎｏ．２）

教科	数学科	科目	数学Ⅰ	単位数	3	学年	1
学科・コース	普通科　英語コース、総合キャリアコース、 スポーツコース、幼児教育コース、音楽コース 美術科　アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	新編　数学Ⅰ（数研出版）	副教材	3TRIAL　数学Ⅰ＋A（数研出版）				

科目の概要	「数と式」「集合と命題」「2 次関数」「図形と計量」「データの分析」における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を習得する。 数学的な活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に考察し、表現し処理する力を養う。 因数分解については年間を通して演習し、常に活用できる力を定着させる。	評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。（知識・技能） 数や式を目的に応じて変形し、関数の関係に着目し特徴を式や表・グラフ等に関連付けて考察する力、図形の性質について論理的に表現する力、データを適切な手法で解決・考察する力を身に付けているか。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組んでいるか。（主体的な態度）
		評価方法	定期考査や小テストなどから知識、技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。
授業内容	1学期 ・数と式 ・集合と命題 ・２次関数 2学期 ・２次関数 ・２次不等式 3学期 ・図形と計量 ・データの分析	学習方法	授業で習ったことをその日のうちに ノートや問題集で復習をする。 理解できなかった内容は放置せず 質問をして理解をする。 各単元の復習や予習を自学・自習する。
		備考	なし

２０２５年度　数学科シラバス（Ｎｏ．３）

教科	数学科	科目	数学A	単位数	2	学年	1
学科・コース	普通科　特進コース、看護医療進学コース						
教科書	新編　数学A（数研出版）	副教材	チャート式解法と演習　数学Ⅰ+A（数研出版） 4STEP　数学Ⅰ+A（数研出版） 3TRIAL　数学Ⅰ+A（数研出版）				

科目の概要	場合の数と確率では、基礎的な考え方を学び、公式に頼るのではなく、各場合について考えることができる力を養う。 図形の性質では、直線や円、三角形の五心に触れ、それぞれの定義や性質を整理・理解し、活用する。素早く正確に図形をかくことができるよう、問題を解きながら練習する。 数学と人間の活動では、約数と倍数、素数、整数の性質を十分に理解し、身近にあふれる事象へ落とし込むことができる力を身につける。 また、問題解決の過程を振り返って自らを評価・改善できる力を身に付ける。 大学入試に対応できる基礎力を身に付ける。	評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。（知識・技能） 図形の性質を論理的に考察する力、確率の性質から事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の関りに着目し数理的に考察する力を身に付けているか。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組む態度ができているか。（主体的に取り組む態度）
授業内容	１学期 ・場合の数 ・確率 ２学期 ・確率 ・平面図形 ３学期 ・平面図形 ・空間図形 ・数学と人間の活動	評価方法	定期考査や小テストなどから知識・技能を、課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力・判断力・表現力を、授業態度や提出物の提出状況、MSS への取り組みから主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。
		学習方法	分からない事はすぐに質問し解決する。 授業で習ったことをその日のうちに復習する。 学習した範囲を問題集や参考書の問題を何度も解くことで確認する。 その他についても積極的に行動する。
		備考	なし

２０２５年度　数学科シラバス（Ｎｏ．４）

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２	学年	１
学科・コース	普通科　総合キャリアコース、英語コース、幼児教育コース、スポーツコース 音楽コース						
教科書	新編　数学Ａ（数研出版）	副教材	3TRIAL　数学Ⅰ+Ａ（数研出版）				

科目の概要	「場合の数と確率」では、集合の概念や樹形図を用いて総数を求め、ＰやＣの公式を用いて順列や組合せを求める。またそれらを応用して確率を求める。 「図形の性質」では、角の二等分線と辺の比の関係、三角形の内心、外心、重心、円と四角形の間にある性質などの性質を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用する。 「数学と人間の活動」 数学は「数える」「測る」「遊ぶ」といった人間の活動との関わりの中で発展してきたものであることを念頭に置き、約数、倍数、素数、記数法について学ぶ。
授業内容	１学期 ・場合の数 ・確率 ２学期 ・確率 ・平面図形 ３学期 ・平面図形 ・数学と人間の活動

評価の観点	基本的な知識やその法則を理解し、数学的に表現・処理をする技能の習得ができているか。（知識・技能） 図形の性質を論理的に考察する力、確率の性質から事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の関りに着目し数理的に考察する力を身に付けているか。（思考力・判断力・表現力） 数学的な活動を通じて粘り強く学習に取り組む態度ができているか。（主体的な態度）
評価方法	定期考査や小テストなどから知識、技能を課題プリントや提出物、グループワークなどから思考力、判断力、表現力を、授業態度や提出物の提出状況から主体的に学習に取り組む態度を評価する。 またそれらを総合的に評価する。
学習方法	授業で習ったことをその日のうちに ノートや問題集で復習をする。 理解できなかった内容は放置せず質問をして理解をする。
備考	なし